



岡田

学校教育目標

10年間を見通した確かな学力と
豊かな人間性の育成

目指す子ども

ふるさ加佐を愛し 夢 未来に向かって歩み続ける子ども
~笑顔で いそいそ 自分から~

平成30年6月29日

舞鶴市立岡田小学校
学校だより No.4

<http://okada-es.maizuru.ed.jp>

7月 「自然の美しさ」 「人の優しさ」



むし暑く雨の日が続くかと思えば、スカッと晴れて夏を思わせる陽気…。梅雨の時期で不安定な日々ですが、雲の切れ間からのぞく太陽は、確実に夏の訪れを感じさせてくれます。アジサイの薄紫の花や、子育て支援協議会・民生児童委員の皆様と低学年児童が植えた草花も元気に育っています。植物だけでなく、アジサイの下の溝にはオタマジャクシ、校舎の側溝の隙間には、カニ（アカテガニ？サワガニ？）もいて、自然豊かな本校のよさが随所に見られます。

グラウンドの泰山木（タイザンボク）が大きな白い花を咲かせました。6年生の男の子が「去年も咲いて、今年で2年目です。」と教えてくれました。「おとしは咲いてなかったの？」と聞くと「去年がはじめてです。」と…。さすが6年生。学校のことをよく知っています。タイザンボクは育つと10mを超える大木になりますが、樹高が2m程になると花を咲かせるのだそうです。本校のタイザンボクもまだ若木。これからどんどん大きくなるでしょう。



タイザンボク（学名：マグノリア）はモクレン科の植物で、大きくて立派な香しい白い花（今年の花も直径が20cm以上ありました。）を咲かせます。その花言葉は「前途洋々」。岡田小学校の児童が、明るく生き生きと学校生活を送り、希望あふれる未来に向かって進んでいく姿を応援してくれているようです。

6月は「いじめ防止対策強化月間」でした。「いじめ」が社会問題として大きく取り上げられるようになって久しいですが、「いじめ」に対する認識は、まだ深まっていないのが現実です。アンケート等の取組に先立ち、全校集会で昨年度（全国）のいじめ件数やその内容、最悪のケースに陥った件数などを知らせた後、「いじめ」とは、「された児童の側から見て、その子が心身の苦痛を感じているかどうかを問題にします。つまり、どんな些細なことであっても、された子が、嫌だったり、悲しかったり、辛かったり、痛かったりすることがあると、それは「いじめ」として考えるべき事柄であり、しない、させない、相談することが大切」と話しました。

「した子にとってはそれほど強い気持ちがなくとも、された子が悲しんでいるかも知れないと考え、知らず知らずのうちに友達をいじめてしまっている可能性がある」と話す、児童は、「もしかしたら、自分の言葉で友達を傷つけていたかも知れない。注意したい。」という感想を聞かせてくれました。その後のいじめアンケートでも「いやな思いをした」という記述が見られ、担任が一人一人から聞き取りをし、現在の状況を確認、指導・支援をしています。優しさ溢れる学校にするために、自分を振り返り、自分たちの学級・学校を見渡し、「やさしい声掛け」や「よりよい人とのつながり方」を身に付けさせたいです。人の心は言葉かけ一つで良くもなるし、悪くもなります。そのことを、学校全体で考えていきたいと思えます。

保護者・地域の皆様には、プール運営委員会や、救急法講習会・地域懇談会に多数ご参加いただきありがとうございました。約一か月後に迫る夏休みに向けて、地域プールやラジオ体操の計画も立てていただきました。

7月に入り、1学期のまとめの時期です。今までの学習を振り返りやり残しがないように、また、個々の児童が、自分のがんばりにより大きく成長したことを自覚できるように、教育活動を充実させたいと思えます。



小中一貫で子どもを育てる③ 保小連携の取組

小中一貫と関連を持たせながら、本校では岡田保育園との連携した取組を行っております。



【1年生どろんこ遊び】

先日は、1年生が生活科の学習で岡田保育園へ行き、「どろんこ遊び」をしました。懐かしい園庭で、園児と一緒に楽しく活動することができました。児童の豊かな気付きや体験を充実させるよう、さらに保育園との連携した取組を進めていきます。

校長 波多野 暢 教職員一同